

北 北海道交通セミナー

北・北海道地域の交通利便性について



放送予定 FM りべーる (83.7MHz) 11月18日(日)
「コーシンのいっしょけんめい!」 12:00~15:00
<http://www.fm837.co.jp/>



FM わっぴー (76.1MHz) 11月下旬頃放送予定
<http://www.souyanet.ne.jp/~wappy/>



お問い合わせ先 北・北海道交通研究実行委員会
〒070 0010 旭川市大雪通9丁目512の37宇山ビル1階
(株)インタフェース総合研究所内
TEL (0166) 27 2200
FAX (0166) 22 8448

とき / 2001年11月10日(土) 13:30~17:30
ところ / JR旭川駅2階 特設会場

主催 / 北・北海道交通研究実行委員会
協力 / 創造と改革、北の星座共和国建国推進事務局
後援 / 国土交通省北海道運輸局、経済産業省北海道経済産業局、北海道、旭川市、稚内市、富良野市、士別市、名寄市、深川市、留萌市、芦別市、紋別市、上川支庁管内町村会、北海道旅客鉄道(株)旭川支社、全日本空輸(株)旭川支店、(株)日本エアシステム旭川支店、旭川空港利用拡大期成会、HAC 友の会あさひかわ

開催にあたり：実行委員長 小川 文三

北・北海道地域の交通網は、旭川を中継点として東西南北に伸び、それに伴って各々の地域が発展した経緯があります。しかし現状は、北・北海道の交通の要衝と云われて久しい旭川が、管内各地の期待に必ずしも応えていない事、そして、交通網の充実度において地域間差があることなど、地域全体で活力を引き出すには至っていません。そこで、今回は北北海道地域において、より良い交通体系のあり方を検討し、実行に結び付けていくことで地域の発展を促進すべく、本セミナーを開催致します。皆様の活発なご意見など頂けたらと思います。宜しく申し上げます。

プログラム

開会挨拶 13:30~13:40

司会 西野 嘉良子 (フリーアナウンサー)

札幌テレビ放送(株)在籍時において、放送作家奥山コーシンの番組アシスタントを務める。現在、東京を中心にフリーアナウンサーとして活躍中。



開会挨拶 北・北海道交通研究実行委員会 実行委員長 小川 文三 (稚内市)

来賓挨拶 北海道上川支庁長 (代理) 地域政策部長 真山 良 様

基調講演 13:40~14:40

「総合交通体系の整備について」

講師 鈴木 文彦 氏 (交通ジャーナリスト)

1956年山梨県甲府市生まれ。東北大理学部、東京学芸大(修士課程)では地理学を専攻。現在、フリーの交通ジャーナリストとして活躍する。月刊雑誌「鉄道ジャーナル」「総合交通」のレギュラー執筆のほか、日本バス友の会企画部長、日本交通学会会員、鉄道史学会会員、学校法人竹早学園非常勤講師(地理学担当)等を兼務する。その他、バスや鉄道に関する論文・取材記事や、「高速バス大百科」「はじめての高速バス」(中央書院)、「路線バスの現在・未来」(グランプリ出版)、「多摩の鉄道百年」(分担執筆・日本経済新聞社)、「よみがえる過疎バス」(日本バス友の会)など、著書も多数。また、国土交通省、都道府県、自治体等での委員として、あるいは全国各地のバス事業者等でのアドバイザーとして活躍する。東京都在住。



休憩 (自由討論準備) 14:40~14:45

分科会 14:45~16:25

「北北海道における交通を考える」(各グループによる自由討論)

第1分科会 航空路線「地域に根ざした航空路線・空港のあり方について」

第2分科会 鉄道線「都市間、及び地域内路線のあり方について」

第3分科会 バス路線「地域間、及び地域内路線のあり方について」

第4分科会 道路網「これからの北北海道における道路のあり方について」

総合司会

奥山コーシン (放送作家)

1938年旭川市生まれ。1958年に上京。前田武彦氏、青島幸男氏のアシスタントを経て、放送作家となる。1971年に作家集団「ペンタゴン」を設立。1973年には、(株)大橋巨泉事務所に放送作家として所属し、若手作家の育成とマネージメントに従事する。この間、「忘れたいのに」「鉄道草」などの作詞活動や、「あめりか橋」「愛の破片」などの歌手活動を始める。また、「シャボン玉ホリデー」「ゲバゲバ90分」等の番組制作・構成にも参画する。1984年には、企画・制作及び放送作家のマネージメント業を営む(株)D.N.P.を設立し、今に至る。最近では、TBS「アッコにおまかせ」の番組構成や出演、東京アナウンス学院の講師などで多忙を極める中、コミュニティー放送局FMリベールの「コーシンのいっしょけんめい!」に自らDJとして出演するなど、故郷の地域振興にも奮闘中。東京都在住。



コーディネーター



白井 暢明 氏 (旭川工業高等専門学校 教授)

1943年室蘭市生まれ。大学時代は最初、理学部・地球物理学部科に進み、気象学などを勉強するも、途中から文学部・哲学科に転部したという、変わった経歴を持つ。現在、旭川工業高等専門学校教授で、北海道東海大学芸術工学部の非常勤講師も兼務する。専攻は哲学とドイツ語。また、「くたばれ!東京神話」(北海道新聞社,1992年)、「未来を拓く北海道論(ドサンコロジー)」(懶ぎょうせい,1996年)などの執筆活動や、まちづくりにおけるコーディネーターとして活躍中。興味のあることはなんでもやる(どんなに忙しくても)をモットーとする。趣味は合唱で、旭川を代表する男声・混声合唱団の常任指揮者としても活躍中。

各分科会座長



第1分科会 座長 西川 将人 氏 (創造と改革 幹事)

1968年旭川市生まれ。旭川東高、北大工学部卒業後、日本航空(株)にパイロット訓練生として入社し、ボーイング747型機パイロットとして国際線乗務員に赴任する。しかし、「政治家になりたい」という思いから、1999年に日本航空(株)を退社し、旭川に帰郷、政治家を志す。現在、議員秘書を務める傍ら、まちづくりグループ「創造と改革」に2000年から入会し、昨年の「旭川活性化セミナー2」において、報告書作成の中心メンバーとして参画する。また、11月から海外滞在の経験を生かし、FMリベールの「西川まさひとのワンダフルワールド」(土曜日)のパーソナリティを担当するなど、幅広く活躍する。



第2分科会 座長 中村 元弥 氏 (弁護士)

1961年兵庫県西宮市生まれ。公務員生活の後、旭川生まれの夫人の縁で、1997年に旭川にて弁護士開業。今に至る。北・北海道各地の法律に関する悩み事に応えるべく、多忙な日々を過ごす中、旭川における心暖かい、様々な人との出会いに感謝すべく、FMリベールの「Today's Target 旭川」(火曜日)のパーソナリティとしても活躍中。キャッチフレーズは「旭川のおしかけ応援団長・流れ者クマチン」。妻と北海道と露天風呂をこよなく愛する40歳の若手バリバリの弁護士。旭川弁護士会会員。



第3分科会 座長 永井 保 氏 (経済社会ソフト化研究会 主宰)

1937年旭川市生まれ。旭川東高卒。旭川市役所にて企画部、商工部を歴任。この間、日本初の永久歩行者天国「買物公園」の実現等、大きな軌跡を残す。(株)旭川産業高度化センター代表取締役専務を1994年に退職。現在、経済社会ソフト化研究会主宰の傍ら、FMリベールの「Today's Target 旭川」(月曜日)のパーソナリティとして活躍中。日本初の300勝投手ピクトル・スタルヒン氏に「巨人を応援して」と言われた事に感激して以来の巨人ファンであり、熱狂的な巨人ファンの集まりである「旭川巨人・スタルヒン会」会長でもある。番組では、巨人をはじめ、日本のスポーツ界に鋭い指摘を投げかけている。



第4分科会 座長 高田 雍介 氏 (企業経営者)

1936年東京都生まれ。(株)集英社を経て、日本テレビ放送網にて番組プロデューサーに就く。1972年に転身し、旭川市に移住、今に至る。現在、第一建設(株)代表取締役社長、日東北王テック(株)代表取締役社長、学校法人旭川大学理事・後援会会長、旭川商工会議所議員等を兼務する。また、FMリベールの「Today's Target 旭川」(金曜日)のパーソナリティも手掛けるなど、幅広く活躍する。当番組では、自らを「まぢの妖怪」と称し、その熱い語り口により、全国各地のインターネット放送リスナーらに支持される。

休憩 (結果発表、総評準備)

16:25~16:30

各分科会の結果発表、総評

16:30~17:25

今後の事業展開、並びに閉会挨拶

17:25~17:30